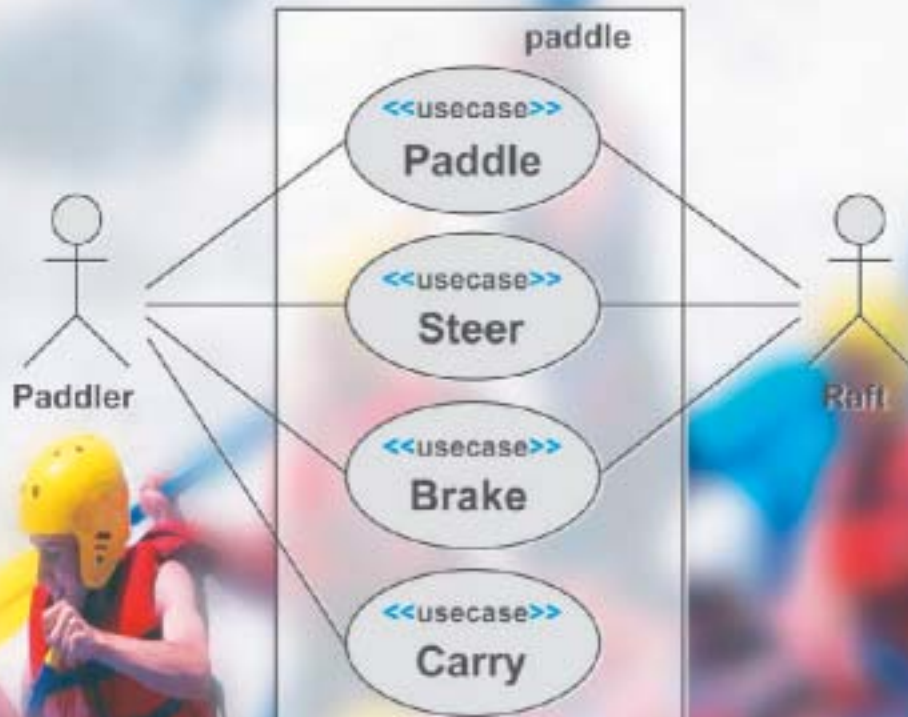


DOORS/Analyst™

Telelogic DOORS®内で要件をビジュアル化するツール



TELELOGIC
DOORS®/ERS

コミュニケーションを向上し、システム開発を促進！

文書の要件に絵図を組み合わせることにより、要件を明確に示すことができます。ビジュアル的にわかりやすい絵図だけでは足りない情報を文書で補強することは、正確に要件を把握するための最善策なのです。

Telelogic DOORS/Analystは、簡単な操作で、図、絵、およびモデルを書くことができるため、要件をビジュアル化し、一目でわかりやすく表現することができます。DOORS/Analystを使用すると、要件管理ツール業界をリードするDOORSの仕様書内でモデルを作成することができます。また、モデルと文書の要件との完全な同期化を図るため、要件の一貫性とトレーサビリティを確保します。

要件管理分野のアナリストの多くは、文書の要件と、ホワイトボードに書く図、Microsoft® PowerPoint®、または頭の中で描くモデルとを組み合わせることで、要件をより明確に示すことができると考えています。DOORS/Analystを使用すると、DOORS内で、ラフなスケッチ、抽象的な図、もしくは、完全な詳細モデルを定義することができます。

DOORS/Analystの主な機能

DOORS/Analystは下記の機能を通して要件を効率的に管理します。

要件の抽出

DOORS/Analystのビジュアル化されたユースケース図などのモデリングは、お客様やエンドユーザとの打ち合わせの際、要件を抽出しやすく、円滑なコミュニケーションが図れます。

要件の説明化

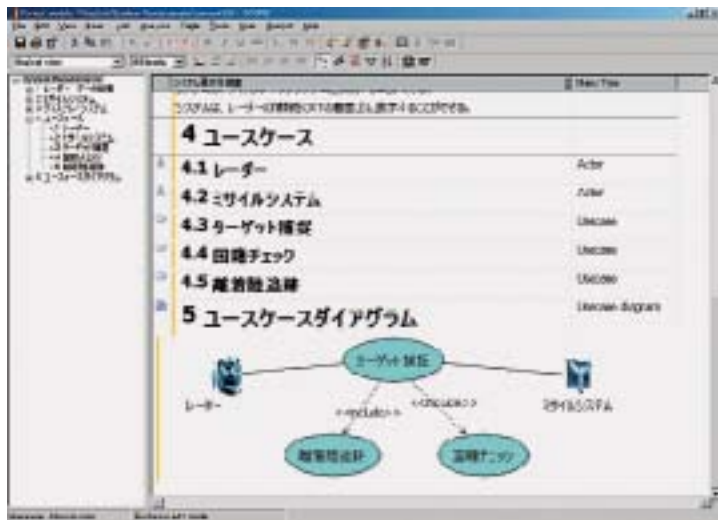
文書での要件を絵やモデルで補強することによって、DOORS/Analystは、要件をより明確に示し、全開発チームと関係者との間で共通の理解を保つことができます。

再利用の構築

DOORS/Analystのモデルは、UML2.0に完全対応している開発ツールに移行する事ができます。そのため、システム設計およびソフトウェア開発者は、DOORS/Analystで使用したモデルの再利用が可能です。その結果、開発チーム全体における開発プロセスの時間の節約および要件駆動型の開発を促進します。

'What are your requirements? 2003' - The Standish Group より

Telelogic



DOORS/Analystの特徴

DOORS/Analystは、独自の強力な機能を提供します。

高度なビジュアルモデリングによる、表現豊かな要件記述

標準モデリング表記であるUML2.0を使用して、DOORS/Analystは、文書の要件を絵や図と組み合わせることにより、わかりやすい表現豊かな要件定義を実現します。

ダイアグラムの自動生成によるモデリングの高速化

DOORS/Analystは、文書で説明された要件からモデルを自動生成するため、開発を迅速に進めることができます。

要件とモデルを自動同期化による一貫性の保持

DOORS内の文書の要件が変更されると、対応するビジュアルモデルも同時にアップデートされます。また、逆にモデルを変更した場合には文書の要件がアップデートされます。これにより、要件の一貫性を保つことができます。

オリジナルのシンボルによる描写

通常のUMLシンボルに加えて、ユーザ定義によるシンボルおよび絵 (bitmaps) を使用してシステムの説明ができるため、プレゼンテーションの質向上および関係者間でのコミュニケーションの円滑化を図ることができます。

要件からモデル間でのリンクを通してトレーサビリティを確保

DOORSオブジェクトとUMLモデルの間にリンク付けをすることができ、このリンクをナビゲートすることにより、迅速且つ簡単に情報をトレースする事ができます。

モデルの認識、シンタックス、およびセマンティックチェックによるクオリティの確保

単なるスケッチツールと違い、DOORS/Analystは「モデル認識」環境のため、全てのダイアグラムをモデルの一部として認識し、作成するモデルにエラーがないことを自動的にチェックする機能が付いています。

文書の要件とモデルをベースラインによりコントロール
DOORS/Analystのビジュアルモデルは、DOORSの要件データベース内に格納されるため、他のアプリケーションの使用方法を学習する必要がなく、ビジュアルモデルをDOORS内でベースライン化することができます。

開発チーム間での共通言語の確立

最新の標準化されたビジュアルシステムおよびソフトウェアの仕様言語であるUML2.0をサポートすることによって、DOORS/Analystは全開発者に共通言語の確立を可能にします。

TAU Generation2を使用した要件駆動型開発プロセスの構築

DOORS/Analystで作成されたモデルは全て、システムエンジニア向けツールであるTAU/ArchitectおよびUML2.0ベースのツールであるTAU/Developerへ移行され、開発チーム全体で要件に対応していることを確認することができます。

DOORS/Analyst の特徴

- 操作が簡単にも関わらず、DOORS内で強力なビジュアルモデリングを実現
- 関係者からの要件聞き取りプロセスを向上
- コミュニケーションおよび強力体制の強化
- 文書の情報からのモデルの自動生成
- 文書とビジュアル要件との一貫性
- 要件のベースラインとモデルの同期化
- 全開発組織において共通言語を確立 (UML2.0)
- 全開発チームでの要件駆動型開発プロセス構築のサポート

日本テレロジック株式会社
〒105-0014 東京都港区芝 1-5-9
住友不動産芝ビル 2 号館 6F
Tel: (03)5427-8900 · Fax: (03)5427-8901
info@telelogic.co.jp · www.telelogic.com/jp